

平成 30 年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
家庭	ファッション造形基礎	2	2-3

1. 学習の到達目標

- ・被服構成の基礎、被服材料の特徴などに関する知識を理解し、被服を製作する能力と態度を育てる。
- ・和服と洋服をその時代の社会的背景と関連させて考え、歴史服、民族服について理解する。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	1章 衣服の構成 1節 人体と衣服 2節 立体構成衣服と平面構成衣服 (実習) 基礎縫い パジャマ (ズボン) (実習) パジャマ (ズボン) 提出 (実習) パジャマ (上着)	・衣服が階級や身分の区別に用いられていたこと、衣服と人権との関わりを認識する。 ・衣服素材の種類や特徴などについて理解する。 ・洋服の構成を理解し、和服との違いを理解する。
2 学 期	(実習) パジャマ (上着) (実習) パジャマ (上着) 提出 2章 衣服の素材 1節 衣服素材の種類 2節 衣服素材の性能と選択 (実習)原型の製図 5歳児 女児ワンピースの製図 製図した女児ワンピースの製作	・被服素材の性能について理解し、衣生活にいかしていけるようにする。 ・幼児の特徴を理解し、幼児に適した衣服を製作する。 ・子供服原型のつくり方を理解する。 ・製図を理解する。 ・幼児服の特徴とデザインを理解し、製作上の留意点を考え製作する。
3 学 期	(実習) 5歳児 女児ワンピース提出	・幼児服の製作を通して製作の楽しさや達成感を味わう。 ・被服製作の技能・技術を身に付ける。

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	考查による評価、提出物、授業態度等による
------	----------------------

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	被服に関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	被服に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付ける。	被服に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。	被服に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、家庭生活の意義や、役割を理解している。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	ファッション造形基礎 (実教出版)
副教材	